

KENWOOD

タッチパネルフインチワイドTV

fz-7000 取付説明書



お買い上げいただきましてありがとうございました。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION
© PRINTED IN JAPAN B54-4326-00 (+) 02/432101/12 11 10 9 8 7 6 5 4

ご使用の皆様へ 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前に
よくお読みください。

絵表示について：

この取付説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター（東京）電話(03)3477-5335 FAX(03)3477-5334 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6394-8085 FAX(06)6394-8308 〒534-0024 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間：9:00～18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休まさせていただきます。）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、各営業所にご相談ください。

安全上のご注意

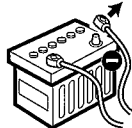
警告



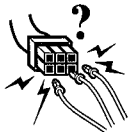
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



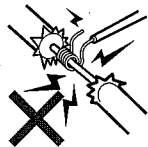
配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。ショート事故による感電や怪我の原因となります。



本製品の配線は必ず、取付説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



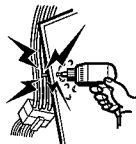
コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。



本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、怪我の原因となります。



アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



電源ケーブル、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（5A）以上であることを確認してください。また、他のAV機器などを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

注意



本製品の取り付け・配線は専門技術と経験が必要です。安全のためご購入上げの販売店にご依頼ください。



本製品を車載用として以外の用途では使用しないでください。

取り付けの注意事項



安全のため、パーキング検出コードは必ず接続し、走行中にテレビ/ビデオの映像が見られないようにしてください。



取り付けには必ず付属の金具やネジをご使用ください。付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が車両から外れることがあります。



本製品はしっかり固定してください。固定できない場所には取り付けしないでください。



TVアンテナはリアウインドウのガラス面に取り付けます。付属のクリーナーとクリーニングクロスでガラス面の油膜や汚れを拭き取ってから、確実に固定してください。不安定な取り付けをしますと、脱落等により車両を傷つけたり、事故の原因となります。TVアンテナは右用、左用があります。取り付けの際は車幅やバンパーからはみ出さないように取り付けてください。



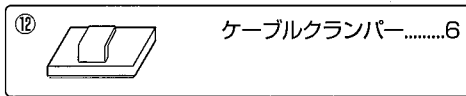
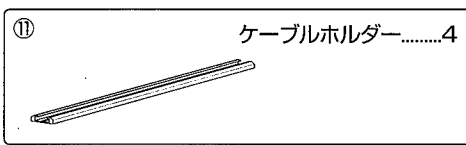
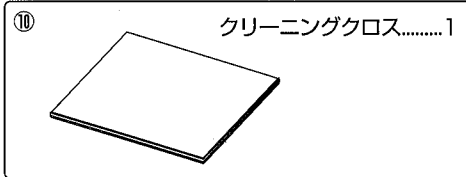
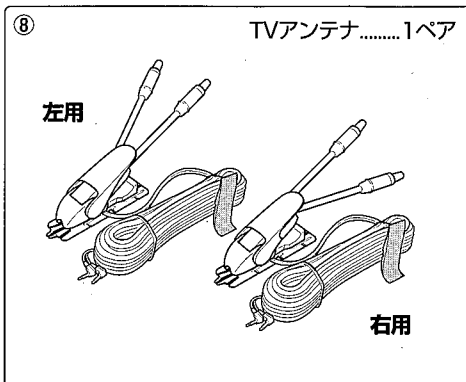
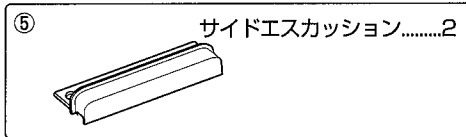
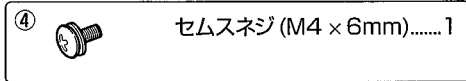
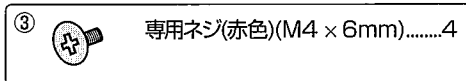
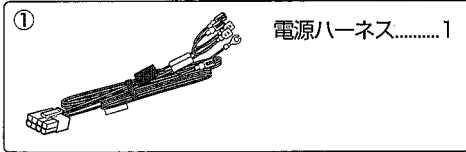
TVアンテナを取り付ける際は車両のFM/AMアンテナから離してください。アンテナ間の距離が近いとFM/AM放送受信時にノイズが入る場合があります。



AV出力端子に別のモニターを接続して使用する場合、以下の場所には取り付けしないでください。
 ■運転者から画面が見える場所
 ■運転に支障をきたす場所

取り付け用の部品一覧

本機には取り付け用として以下の部品が付属しております。取り付け/接続前にご確認ください。

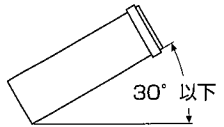


本体の取り付けかた

ナビゲーションユニットの取り付けかたは、ナビゲーションユニットの取付説明書をご覧ください。

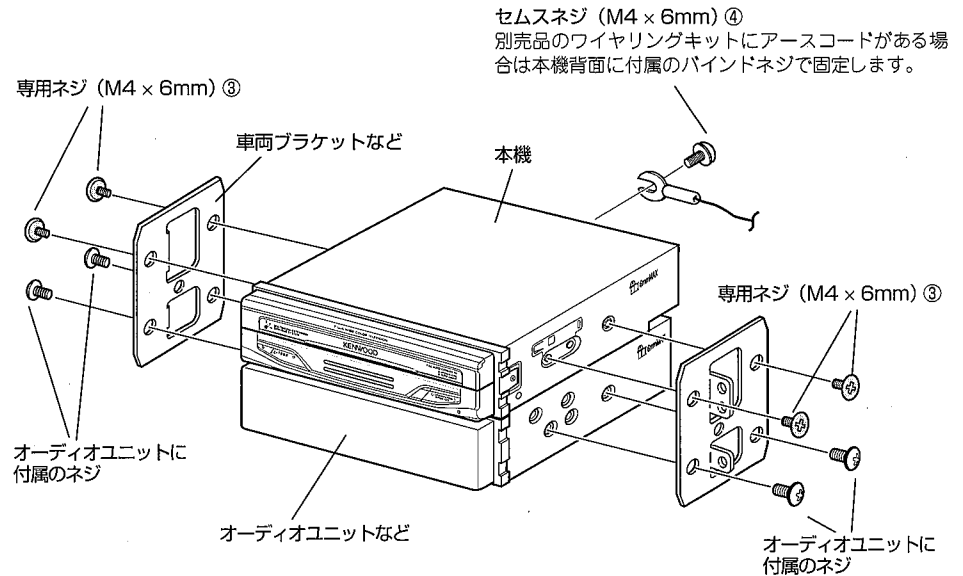
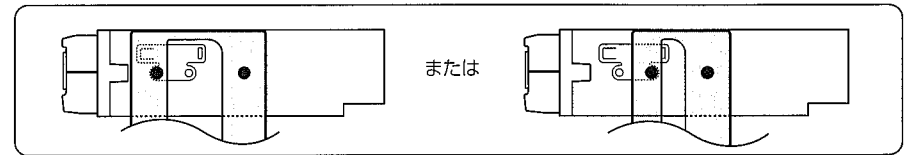


- 本製品の取り付けには、付属品の赤色の専用ネジをご使用ください。付属品以外のネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
- 注意 ●本機の取付角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けるとモニターの開閉/クローズ動作に支障をきたす場合があります。
- モニター部を持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。

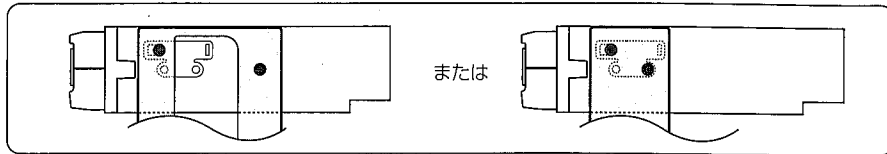


別売品のワイヤリングキットや取付キットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくはカーオーディオカタログをご覧ください。

■車両ブラケットが下図の●位置の穴を使用するトヨタ車や日産車、三菱車などに取り付ける場合。

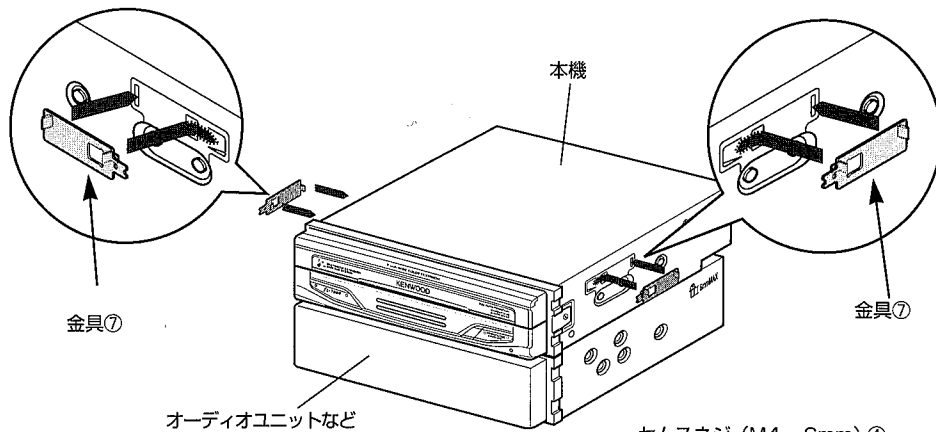


■ 車両ブラケットが下図の●位置の穴を使用するトヨタ車に取り付ける場合。



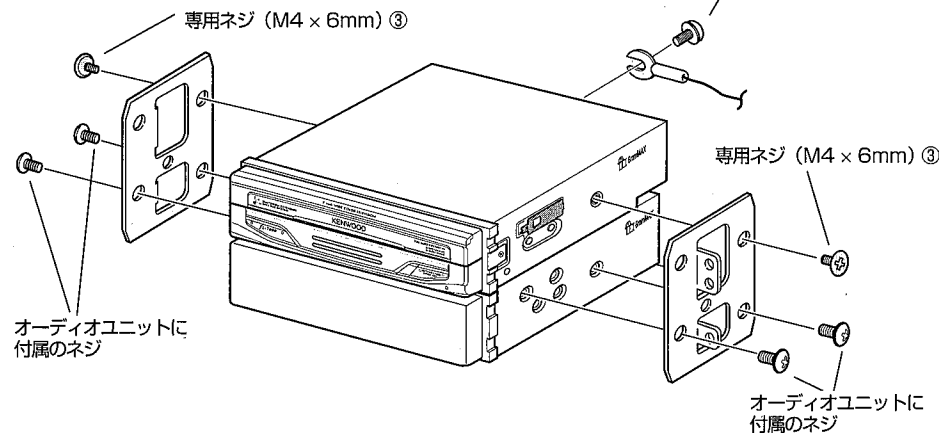
車両のブラケットの形状により、本機を左右2ヶ所ずつをネジで固定できない場合は、以下のように金具⑦を使用してブラケットを固定します。

1. 金具⑦を下図のように両サイドに取り付けます。

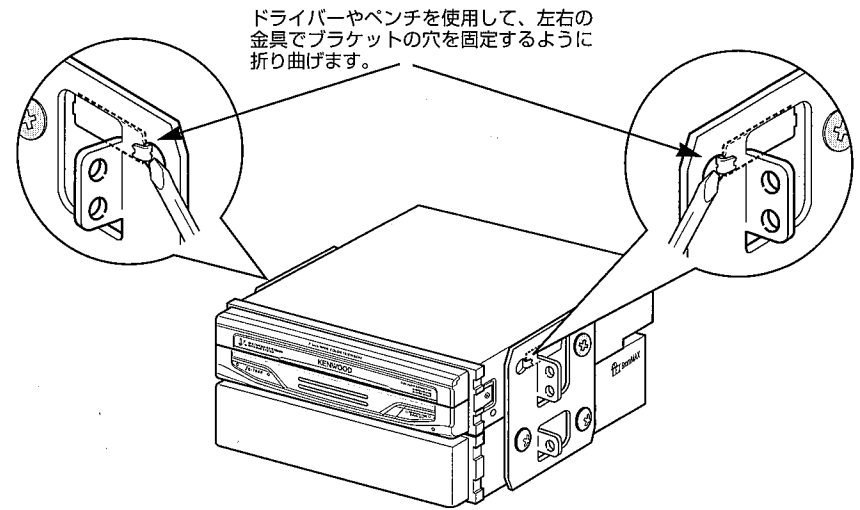


セムスネジ (M4 × 6mm) ④
別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のバインドネジで固定します。

2. ブラケットを取り付けます。

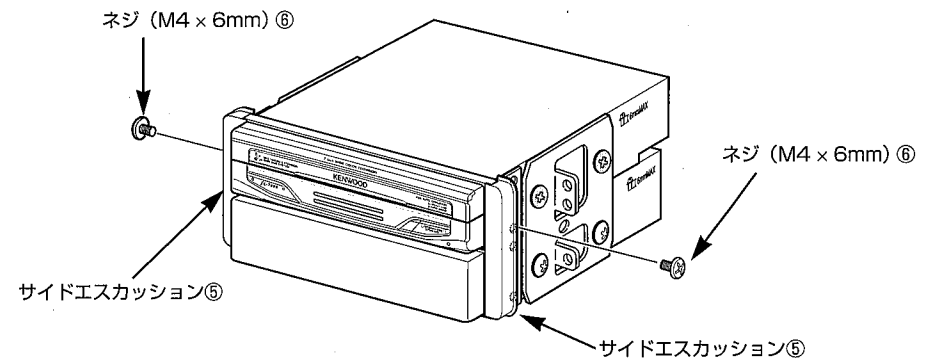


3. 金具⑦の先端を折り曲げて、ブラケットを固定します。



■ トヨタ新規格オーディオ装着車に取り付ける場合

トヨタ新規格オーディオ（幅広タイプ）装着車に取り付ける場合は、サイドエスカッション⑤とネジ⑥を使用して、両サイドの隙間を隠します。



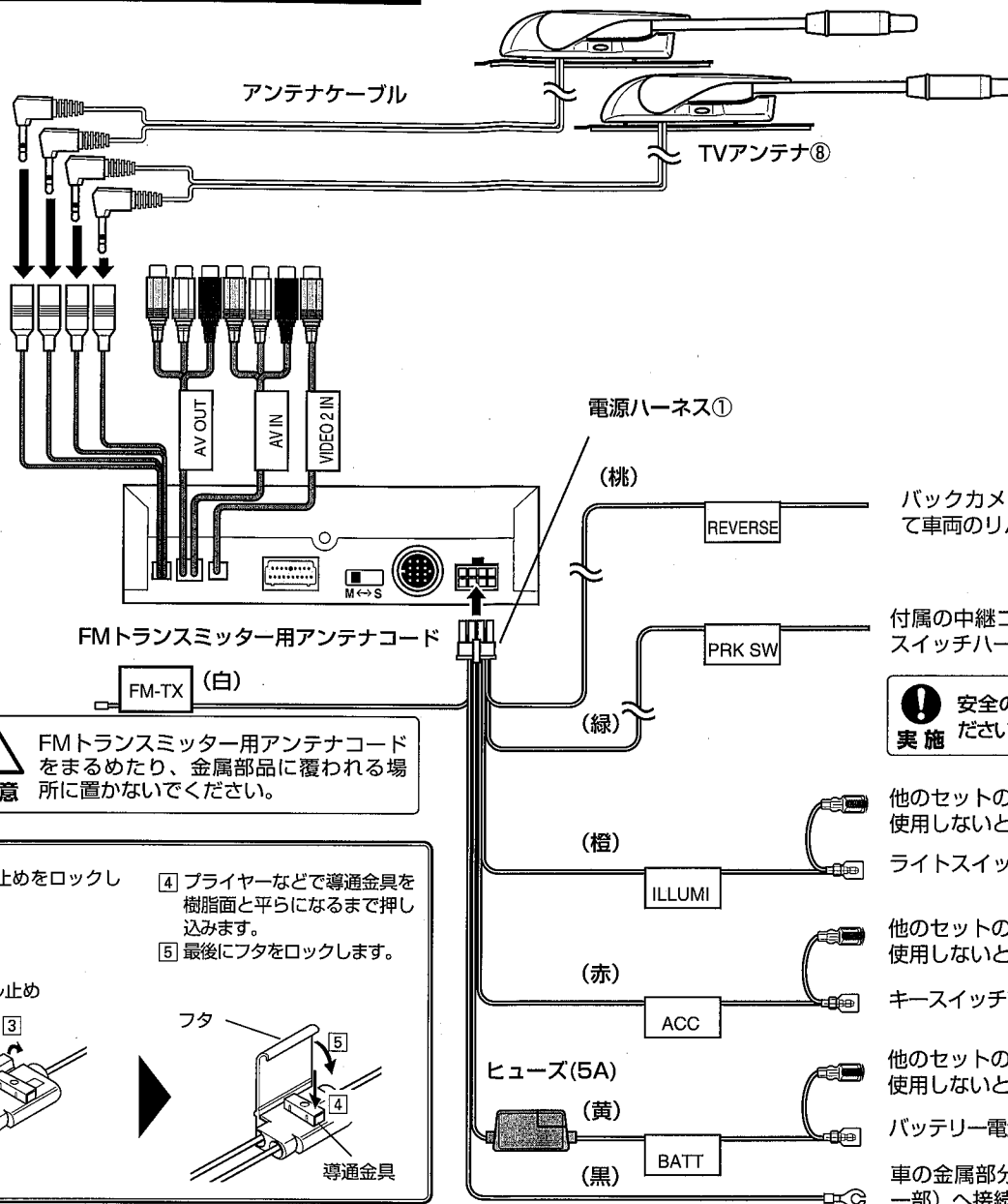
接続のしかた

■ 電源ハーネスとTVアンテナの接続

ナビゲーションユニットの接続のしかたは、ナビゲーションユニットの取付説明書をご覧ください。

! 最初にエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

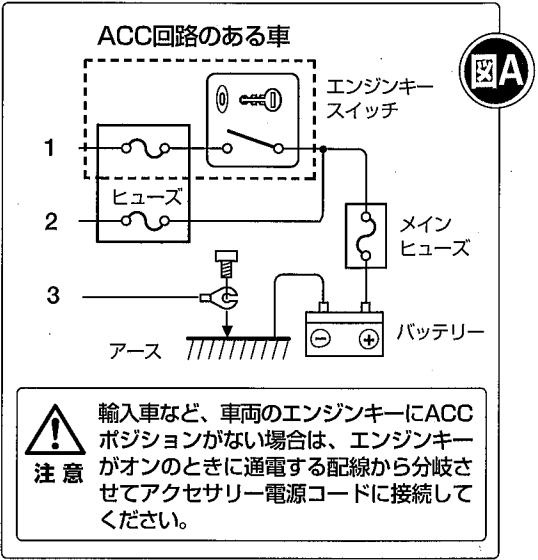
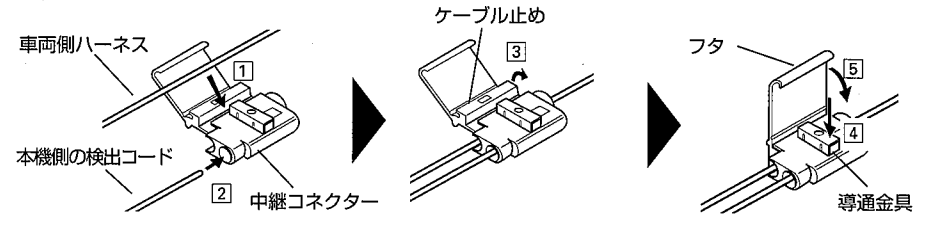
1. AV入力端子を使用する場合は、あらかじめ市販品のAVケーブルを接続します。
2. 電源ハーネスのコードやアンテナケーブルを接続します。
3. 電源ハーネスのコネクターをfz-7000に接続します。
4. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
5. 本機のリセットボタンを押します。



! FMトランスミッター用アンテナコードをまるめたり、金属部品に覆われる場所に置かないでください。

中継コネクター②の使いかた

- 1 車両側のハーネスを中継コネクターに差し込みます。
- 2 本機側の検出コードを中継コネクターに差し込みます。
- 3 ケーブル止めをロックします。
- 4 プライヤーなどで導通金具を樹脂面と平らになるまで押し込みます。
- 5 最後にフタをロックします。



バックカメラを接続する場合に、付属の中継コネクターを使用して車両のリバースランプハーネスに接続します。

付属の中継コネクターを使用して車両のパーキングブレーキ検出スイッチハーネスに接続します。

! 安全のため、必ずパーキングブレーキ検出コードは配線してください。

他のセットのイルミネーションコードが接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。ライトスイッチでオン/オフできる電源へ接続します。

他のセットのアクセサリコードが接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。キースイッチでオン/オフできる電源へ接続します。→ 図A01

他のセットのバッテリー電源が接続できます。使用しないときはキャップを外さないでください。バッテリー電源へ接続します。→ 図A02

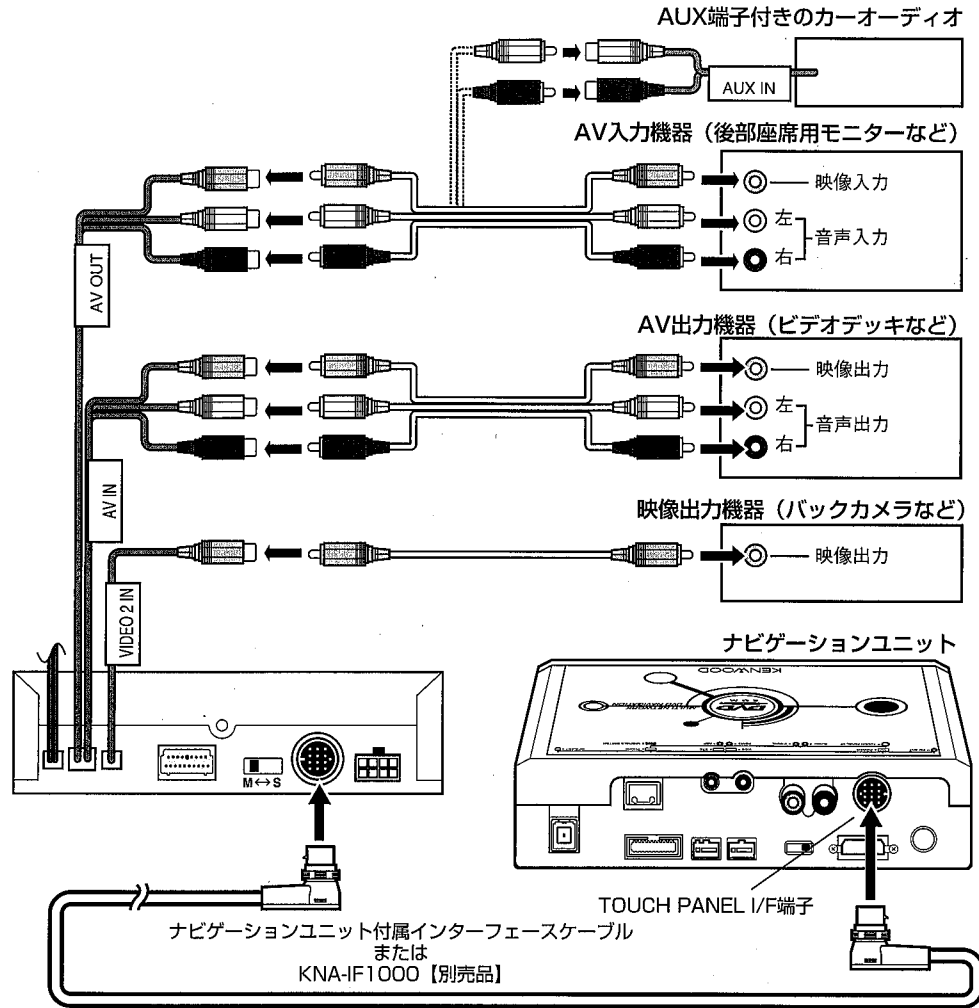
車の金属部分（電源のマイナス側と導通しているシャーシなど）へ接続します。→ 図A03

■ ナビゲーションユニット/AV機器との接続

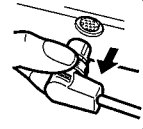
AV入/出力端子

市販品のAVケーブルを使用して、外部AV機器のAV入/出力端子へ接続します。

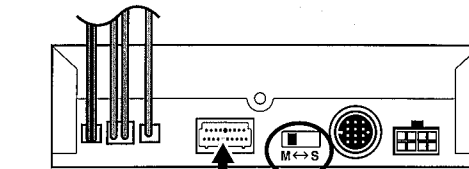
黄色端子：映像 白色端子：左音声 赤色端子：右音声



インターフェースケーブルを抜くときは、コネクタのリング部分を持って行ってください。ほかの部分を持って抜くとロック機構が解除されないため、コネクタ部が破損する恐れがあります。



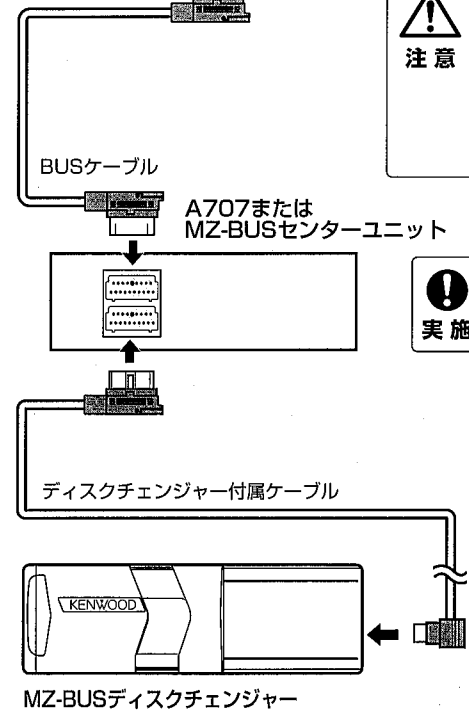
■ オーディオ機器との接続



"M-S"スイッチは以下のように設定してください。

注意

- A707やBUSセンターユニットを接続する場合は "S" に設定してください。
- その他は "M" に設定してください。（お買い上げ時は "M" に設定してあります。）



使用しないBUS端子の保護キャップは外さないでください。



センターユニットに接続する場合や、A707やDSPユニット付属のBUSケーブルが短い場合は別売品のBUSケーブルCA-11MX(1m)/CA-30MX(3m)/CA-55MX(5m)を使用してください。

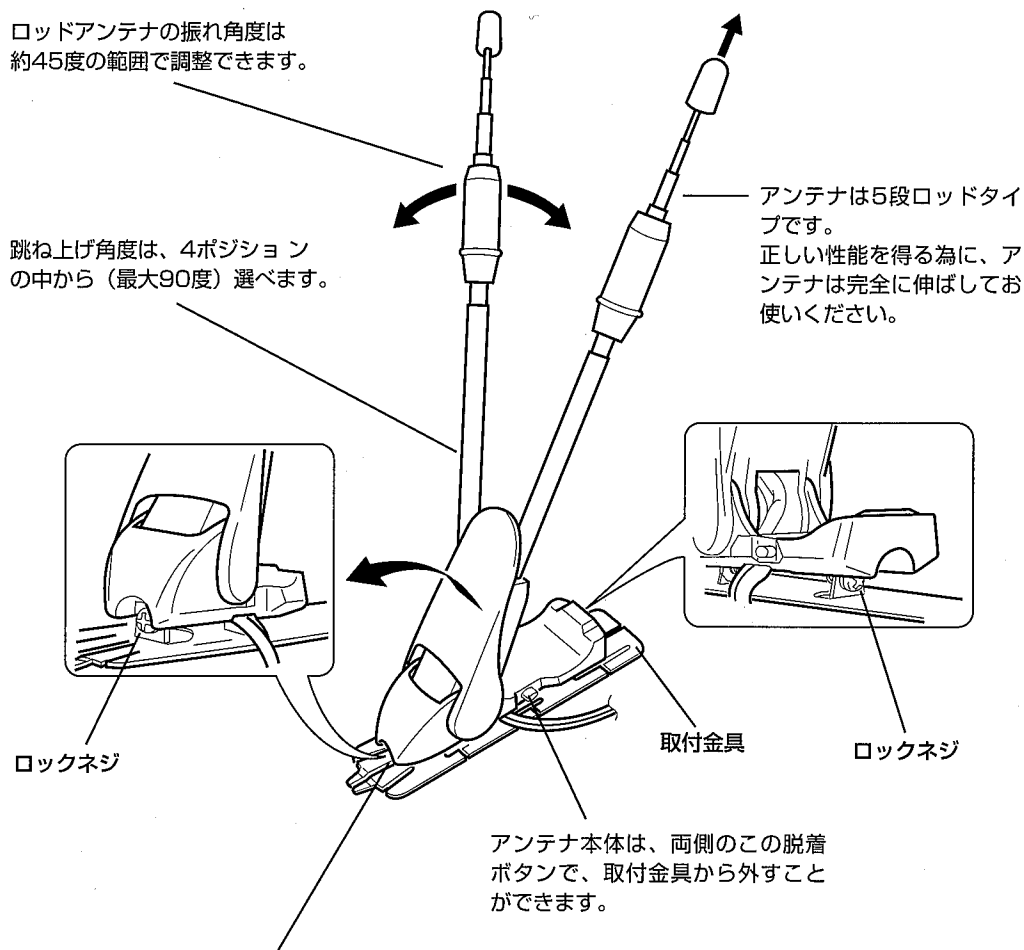
※MX-BUSシステムの接続には、BUS変換ボックスCA-57ZXが必要です。

TVアンテナの取り付けかた

■ TVアンテナの説明

ロッドアンテナの振れ角度は約45度の範囲で調整できます。

跳ね上げ角度は、4ポジションの中から（最大90度）選べます。



前後のロックネジを緩めると、アンテナ本体を左右45度の範囲で傾けることができます。傾け角度を決めたら、ロックネジを絞めて固定します。

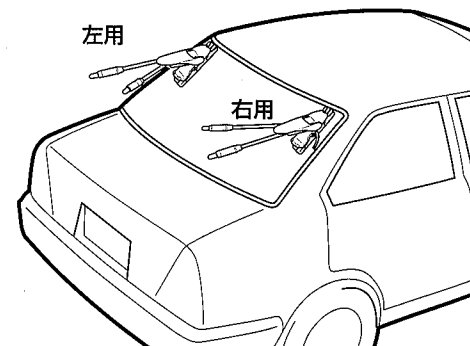
■ TVアンテナの取り付け

1. 取付金具をアンテナ本体に取り付けた状態で、左右のアンテナをリアウインドウガラス上に置いて取り付け位置を決めます。アンテナは角度を変え、長さは最長にして実使用状態で確認してください。

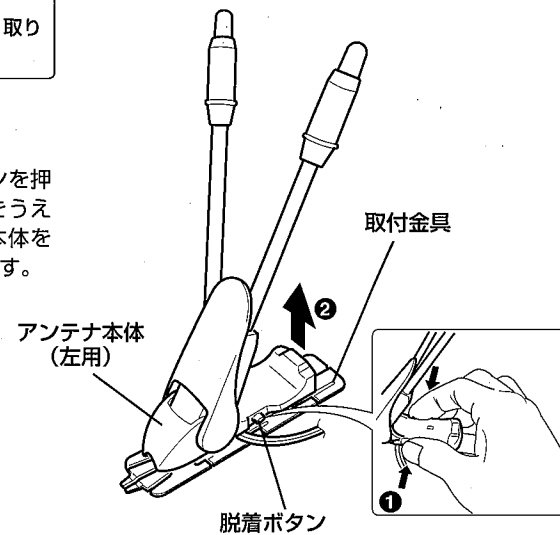


注意

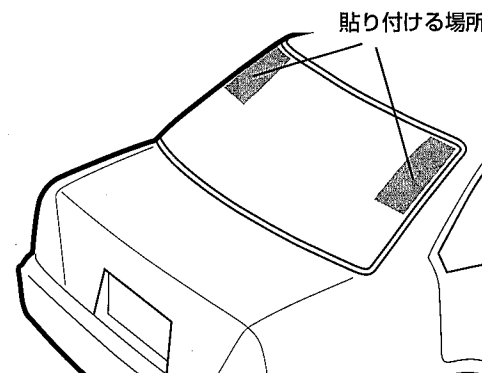
- TVアンテナは右用、左用があります。車幅やバンパーからはみ出さない位置にしてください。
- TVアンテナは車両のFM/AMアンテナから離してください。アンテナ間の距離が近いとFM/AM放送受信時にノイズが入る場合があります。
- 取付金具の貼り直しはできません。取り付け場所は慎重に決めてください。



2. アンテナ本体にある両側の脱着ボタンを押しながら【手順①】、アンテナ本体をうえに持ち上げて【手順②】、アンテナ本体をいったん取り付け金具から取り外します。



3. アンテナを貼り付ける場所は、付属のクリーナー⑨とクリーニングクロス⑩を使用して油污れ等を落とします。



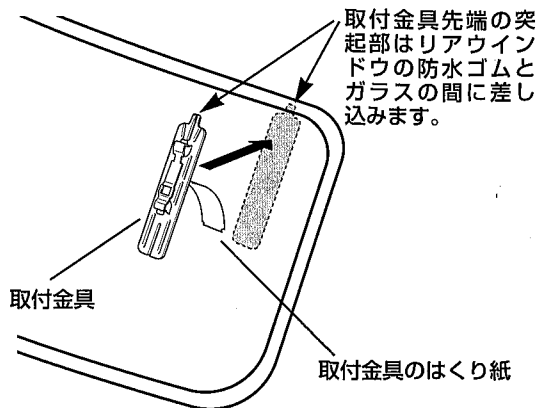
4. 取り付け面の湾曲が大きい場合は取付金具を湾曲面に合わせて曲げます。

5. 取付金具裏面の両面テープのはくり紙をはがし、上から強く押しつけて取付金具を貼り付けます。



注意

- 取付金具は確実に固定してください。不安定な取り付けをしますと、脱落等により車両を傷つけたり、事故の原因になります。
- リアウインドウのガラス面温度が低いときは、リアデフォッガの電源を入れて温めてください。温度の低いところでは両面テープの粘着力が弱くなります。また、雨の日など温度が高い日は屋内で作業を行ってください。温度が高いときも両面テープの粘着力が弱くなります。



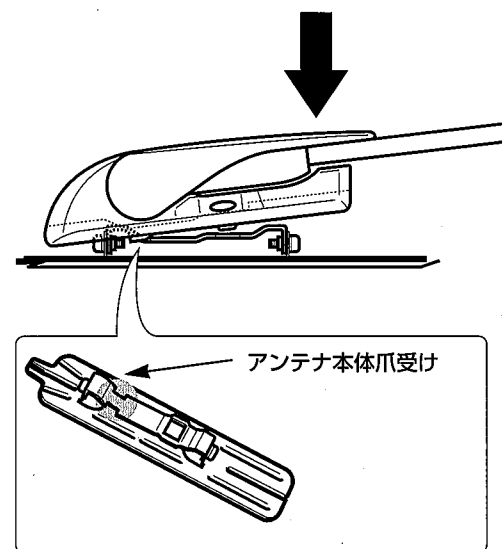
6. 取付金具を貼り付けたあと24時間以上放置します。このあいだ、取付金具に水をかけたり、力を加えたりしないよう注意してください。

7. アンテナ本体の左右を間違えないように、アンテナ本体を取り外したときと逆の手順で取付金具に取り付けます。



注意

アンテナ本体を取り付ける時は、右図のようにアンテナ本体の下部前面の爪を取付金具に引っかけてから、アンテナ本体をロックするまで下に押しします。



8. ケーブルホルダー⑩を、アンテナ本体からアンテナケーブルを引き込む位置までの長さで切り、裏面のはくり紙をはがして、ガラス面に貼り付けます。



注意

ケーブルホルダー、ケーブルクランパーおよび両面テープを貼り付けるときは、取付金具の貼り付けのときと同様に、貼り付け面の汚れ等をよく落としてください。

9. アンテナケーブルのねじれを直しながらケーブルホルダー⑩にはめ込みます。

10. アンテナケーブルを車両のガーターサイドに沿って配線し、ケーブルクランパー⑫で固定します。アンテナケーブルに付いている防水ゴムはトランクリッドにあたるようにします。

11. アンテナケーブルをfz-7000本体まで配線します。

